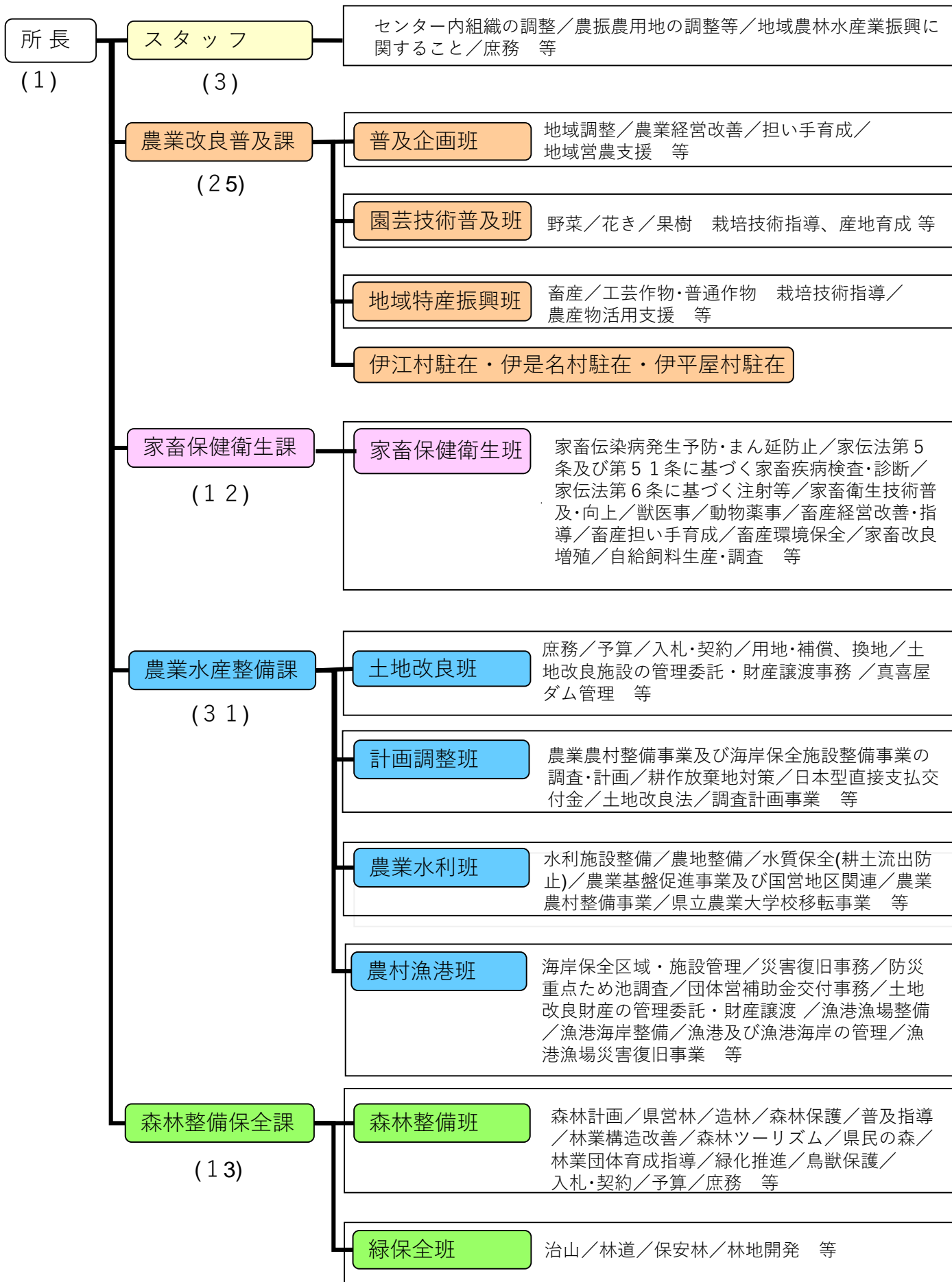


# 北部農林水産振興センターの組織体系表

( ) は定数：全85名



# 新・沖縄21世紀農林水産業振興計画

目 標：徹底したおきなわブランドづくりの推進による「魅力と活力ある持続可能な農林水産業」の実現」

基本方向：7つの柱を基本に農林漁業者の所得向上、域外所得獲得力の向上、域内経済循環の拡大に向けた施策・事業の展開と圏域別振興

## 1 おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化

①野菜・果樹・花き類等の生産振興	農業改良普及課
②肉用牛・養豚の生産振興	農業改良普及課、家畜保健衛生課
③さとうきび等安定品目の生産振興	農業改良普及課
④林産物の生産振興	森林整備保全課
⑤沖縄型のおきなわブランドづくりを育める漁業の振興	
⑥資源管理型沿岸漁業の振興	

## 2 県産農林水産物の安全・安定供給と消費者信頼の確保

①生産段階の品質管理の強化と表示の適正化の推進	スタッフ、農業改良普及課、森林整備保全課
②県産農林水産物の高度な衛生管理の推進	
③特殊病害虫等の侵入防止	農業改良普及課
④特定家畜伝染病対策の強化と徹底	家畜保健衛生課
⑤環境に配慮した病害虫防除対策と鳥獣被害防止対策の推進	農業改良普及課

## 3 多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化

①農林水産物の輸送コストの低減対策及び総合的な流通の合理化	森林保全整備課
②多様なニーズに対応する戦略的な販路拡大と加工・販売機能の強化	
③食品産業など他産業との連携による農林水産物の付加価値向上	農業改良普及課、家畜保健衛生課、森林保全整備課
④地産地消等による県産農林水産物の消費拡大	スタッフ、森林整備保全課
⑤製糖業の経営基盤強化と高度化推進	

## 4 担い手の育成・確保と経営力強化

①担い手の育成・確保	農業改良普及課、家畜保健衛生課、森林整備保全課、農業水産整備課
②農林水産業の経営安定対策の充実	森林整備保全課
③担い手への農地の集積・集約化の促進	スタッフ
④農林漁業団体の組織強化を通じた力強い経営体づくり	森林整備保全課

## 5 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進

①デジタル技術等を活用したスマート農林水産技術の実証と普及	農業改良普及課、森林整備保全課
②多様なニーズや気候変動等に対応した品種の開発と普及	農業改良普及課、家畜保健衛生課、森林整備保全課
③地域特性を最大限に生かした農林水産技術の開発と普及	農業改良普及課、森林整備保全課
④農林水産技術の国際交流の促進	

## 6 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備

①生産性と収益性を高める農業生産基盤の整備	農業水産整備課
②自然環境に配慮した森林及び林業基盤の整備	森林整備保全課
③水産物の生産性を高める生産基盤の高度化	農業水産整備課
④農山漁村地域の強靱化対策の推進	農業水産整備課

## 7 魅力と活力ある農山漁村地域の振興と脱炭素社会への貢献

①環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進	農業改良普及課、家畜保健衛生課、農業水産整備課
②地域資源の活用・域内循環の創出による地域の活性化	家畜保健衛生課、森林整備保全課
③地域が有する多面的機能の維持・発揮	農業改良普及課、森林整備保全課、農業水産整備課

# スタッフ

センター各課のとりまとめ・総括、農業振興地域制度及び農地転用許可制度等の業務を行っています。



「土壌保全の日」のイベント



優良建設業者等表彰式



市町村との行政懇談会

## 2 県産農林水産物の安全・安定供給と消費者信頼の確保

### ①食品の安全及び消費者の信頼の確保

消費者の食料の安全・安心への関心が高まる中、県産農林水産物をはじめ流通する農林水産物の信頼を確保するため、JAS法に基づく食品表示の適正化を推進しています。

## 3 多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化

### ④地産地消等による県産農林水産物の消費拡大

5月10日は「黒糖の日」と制定され、北部農林水産振興センターの1階ロビーにおいてパネル展示等を行い、周知活動と共に黒糖利用を紹介しています。



黒糖の日推進 パネル展示

## 4 担い手の育成・確保と経営力強化

### ③担い手への農地の集積・集約化の促進

#### ○ 農業振興地域整備計画の変更に関すること

農業振興地域の整備に関する法律に則り、市町村が策定する「農業振興地域整備計画」に係る調整・協議等の業務を行っています。

この「農業振興地域整備計画」は、北部地区12市町村すべてにおいて策定されており、農用地利用計画（農用地区域の設定や農用地区域内の農業上の用途の指定）等が定められています。

#### ○ 農地法及び農地転用許可制度に関すること

農地法に則り農地転用制度に係る業務を行っています。

計画的かつ合理的な土地利用を促進する観点にたつて、農業以外の土地利用計画との調整を図りつつ、優良農地を確保することによって、農業生産力の維持と農業経営の安定化を図り、健全な経済の推進に寄与することを目的に取り組んでいます。



農業振興地域・農地の現地確認

※農地転用の申請等の手続きについては各市町村の農業委員会へ問い合わせてください。

農業者を支援するため3班(3離島駐在員を含む)にて諸課題に取り組んでいます。

## 1 おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化

野菜、果樹、花き類、肉用牛、さとうきび等については、生産性及び品質の向上を目的に新品種・新技術の普及などを積極的に推進しています。さらに生産・出荷者の組織化や農作物を計画的、安定的に供給しうる拠点産地等の形成を図り、おきなわブランドの確立を促進しています。



トルコキキョウ栽培講習会



パインアップル現地検討会



島らっきょう現地検討会



釜炒り茶講習会



肉用牛個別指導



さとうきび植付実演会



水稻ドローン防除実演会

## 2 県産農林水産物の安全・安定供給と消費者信頼の確保

### ①生産段階の品質管理の強化と表示の適正化の推進

農産物の安全に係る信頼性を高めるため、農薬や飼料等の適正使用や、農業生産工程管理(GAP)手法の導入による生産段階での衛生・品質管理を徹底し、消費者へより安全な農産物が供給されるよう努めています。

### ③特殊病害虫等の侵入防止

特殊病害虫に指定されているミカンコミバエとウリミバエの本県への侵入警戒としてトラップ調査や関係機関と連携した一斉果実採取調査を行います。



ウリミバエ(左)とミバエトラップ(右)

### ⑤環境に配慮した病害虫防除対策と鳥獣被害防止対策の推進

農薬使用の適正化、天敵等を活用した総合的病害虫・雑草管理(IPM)に取り組んでいます。また、カラスやイノシシ等の被害防止に向けて、より効率的かつ効果的な取組の検証・普及を推進しています。

## 3 多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化

### ③食品産業など他産業との連携による農林水産物の付加価値向上

地域の農産物の利活用及び特産品開発など、起業活動を支援し、農業生産と加工・販売の一貫活動や新たな産業の創出等6次産業化に向けた支援を行っています。



6次化勉強会

## 4 担い手の育成・確保と経営力強化

### ①担い手の育成・確保

### ④農林漁業団体の組織強化を通じた力強い経営体づくり

就農希望者や新規就農者に対して新規就農に係る施策を活用した支援に取り組み、就農相談から就農定着まで技術・経営両面から一貫した支援を推進します。

地域の実情に即した効率的かつ安定的な農業経営を目指す認定農業者や農業生産法人等の担い手を育成しています。

女性の農業経営への参画を推進するとともに、北部農業士会や北部青年農業者会の活動を支援し、地域リーダーの育成・確保に努めています。



新規就農講座（農業士に学ぶ）



女性農業者交流会



農事功績者表彰部長表敬

## 5 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進

高度かつ多様な農業者のニーズに応えるため、研究機関等と連携して、スマート農業技術、新品種、新技術の情報共有を進めると共に、実証展示ほ場の設置や農家巡回指導等の充実・強化により、産地・地域の課題に応じた技術等の普及を図っています。

## 7 魅力と活力ある農山漁村地域の振興と脱炭素社会への貢献

### ①環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進

農業生産の基盤である土づくり対策が重要であることから、土壌分析に基づく土壌改良の実践、緑肥すき込み及び堆肥等施用による有機物を活用した地力の増強を支援します。

環境負荷低減の取組を推進するため、土づくりと併せて、化学肥料及び化学合成農薬の使用低減に取り組むエコファーマーを育成・支援するとともに、特別栽培農産物の生産の支援体制整備を進め、環境保全型農業の推進を図ります。

赤土等流出防止対策では、赤土等流出の実態調査を行うとともに、「土壌保全の日」におけるほ場周辺へのベチバー等の植栽を地域や住民と一体となって取り組み、持続的で効率的な赤土等流出防止対策を推進しています。



土壌分析



土壌保全の日

### ③地域が有する多面的機能の維持・発揮

農村の豊かな自然環境や沖縄らしい風景づくり等の地域資源の保全・活用を図り、多面的機能の維持・発揮に取り組みます。

特に、農村の地域づくりを推進する農業者や活動組織等の地域リーダーの育成・確保を推進するとともに、産地育成等を通じた農業振興による地域の活性化を図っています。



農業振興に向けての推進会議

# 家畜保健衛生課

家畜の防疫衛生、改良増殖、環境対策及び飼料増産に取り組んでいます。

## 1 おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化

### ②肉用牛・養豚の生産振興

肉用牛においては、県産肉用牛のブランド確立に向けて遺伝子技術等の先端技術を活用した県優良種雄牛を造成しており、現在は「美百合」を筆頭に「百合安清」、「照百合守」が共用されています。併せて適正な人工授精業務の推進を図ります。

豚においては「沖縄アグー豚」の保全並びに安定的な系統維持と増産に取り組めます。また、産肉性に優れた種豚の本県独自の共有体制の整備に取り組んでいます。



改良増殖の推進（共進会）



「美百合（ちゅらゆり）」  
H30.8.28 生 産地：今帰仁村



沖縄アグー豚

## 2 県産農林水産物の安全・安定供給と消費者信頼の確保

### ④特定家畜伝染病対策の強化と徹底

県内では令和2年に豚熱、令和4年に高病原性鳥インフルエンザが発生し、県内畜産業界に大きな衝撃が走りました。現在豚熱については市町村と連携し、予防注射と免疫付与状況等確認検査を行い再発防止に努めています。しかし近隣諸国では依然として国内未発生 of 特定家畜伝染病である口蹄疫やアフリカ豚熱が継続発生しているため、国をはじめとする各関係機関が連携し、侵入防止対策に努めています。



豚熱予防注射



鳥インフルエンザ検査



飼養衛生管理基準遵守状況調査



腐蛆病検査



防疫演習(車両消毒)



防疫演習(防疫資材搬出)

## 4 担い手の育成・確保と経営力強化

### ①担い手の育成・確保

地域農業の継続的な発展と活性化を図るため、関係機関と連携し生産技術及び経営管理技術の普及啓発を実施し、北部地域における畜産リーダーとなる人材の育成と確保に努めています。



家畜人工授精師講習会



農業大学校での講義

## 5 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進

### ②多様なニーズや気候変動等に対応した品種の開発と普及

優良な特性を保有する遺伝能力の高い種雄牛や繁殖性及び産肉性に優れた種豚等の普及に取り組みます。さらに自給飼料生産によるコスト低減と農家所得向上を図るため、本県の気候や地理的条件に適した牧草品種の普及を図り、計画的な草地更新を推進するなど生産性の向上に取り組みます。



牧草の収量調査



生育調査

## 7 魅力と活力ある農山漁村地域の振興と脱炭素社会への貢献

### ①環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進

### ②地域資源の活用・域内循環の創出による地域の活性化

環境と調和した畜産の確立と持続的な発展のため、家畜排せつ物の適正な処理を進めるとともに地域資源として堆肥や液肥利用を展開するなど、耕畜連携による資源循環型農業の促進と環境負荷の低減につながる取り組みを推進していきます。



堆肥舎の調査



家畜排せつ物の堆肥利用



畜産環境調査

# 農業水産整備課

農業及び水産業の基盤整備に取り組んでいます。

## 4 担い手の育成・確保と経営力強化

### ①担い手の育成・確保

耕作放棄地を解消し、担い手への農地集積を図る。地域の話し合いを通じた土地利用計画の策定や整備を行い、優良農地の維持・保全、有効利用を図る。

#### ○荒廃農地利用加速化事業

荒廃農地の再生作業、及び土壌改良を支援し、荒廃農地の利用を加速化します。

実施前



実施中



実施後



#### ○最適土地利用対策モデル支援事業

地域ぐるみの話し合いを通じ、農地の有効活用や粗放的な利用によるモデル的な取り組みを支援する。

・最適土地利用推進事業 地域ぐるみの話し合いによる最適な土地利用構想の策定を支援します。



・最適土地利用整備事業 土地利用構想図に基づき農用地保全に必要な基盤整備等支援します。



## 6 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備

### ①生産性と収益性を高めた農業生産基盤の整備

農業用水源施設、かんがい施設の整備により作物の増収、品質向上、高収益作物導入・新たな産地形成の促進を図る。

#### ○国営かんがい排水事業

国営かんがい排水事業は、受益面積500ha以上等の規模を対象とし、ダム等の水源開発及び幹線水路等の整備を行っている。北部管内では、羽地大川地区、伊是名島の伊是名地区及び伊江島の伊江地区が完了している。

# 農業水産整備課

## ・真喜屋ダム管理

国営羽地大川土地改良事業により整備され真喜屋ダムについて、国から管理委託を受け、設備の点検等を行っています。



真喜屋ダム



ダム見学会

## ○水利施設整備事業

農業用水を確保し活用すること等を目的とし、水源開発から末端の整備等を行います。また、国営かんがい排水事業において整備された基幹施設からの末端の整備を行っている。



ファームポンド  
(ダムや貯水池からの水を貯めておくタンク)



貯水池と送水施設  
(流出水を有効貯留する施設と送水施設)



スプリンクラーによる  
かん水状況

## ③水産物の生産性を高める生産基盤の高度化

防波堤等の施設整備による台風時の漁船の安全係留の確保と併せ、浮棧橋等を整備し漁業就業環境改善を図ることにより、漁業生産性の向上に取り組みます。また、浮魚礁の更新整備を行い、回遊魚資源等の持続的利用と漁場探索時間の短縮による漁業者経営の安定化を図ります。

## ○漁港管理事業

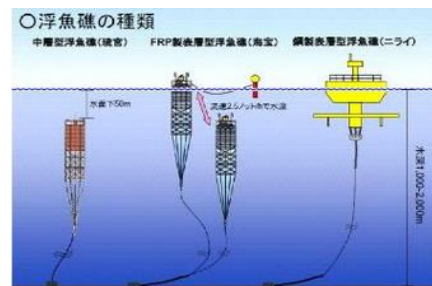
水産庁所管の漁港施設について、占用許可申請への対応等の維持管理を行っています。



第2種漁港 名護漁港

## ○水産環境整備事業

漁業の効率化を図るため、魚が集まる魚礁を設置しています。



魚礁整備

## ④農山漁村地域の強靱化対策の推進

地域特性に応じた農業用水源の確保、かんがい施設及び区画整理等を計画的に推進するとともに水事情の変化に対応するため池施設等の再編・更新を図ります。

また、台風等の雨水の分散を目的とした承排水路や暴風から農作物を守るための農業用防風施設等の整備を促進します。

- 農地保全整備事業  
農地の侵食防止や防風林の設置をはじめとした農地保全対策等を行っています。



防風林整備

- ため池等整備事業  
農業の振興を図る地域において、農地及び農業施設を災害から未然に防ぐため、ため池の改修や法面保護、水路の護床等を行っています。



ため池整備

## 7 魅力と活力ある農山漁村地域の振興と脱炭素社会への貢献

### ①環境に配慮した持続可能な農林水産業の推進

- ・河川海域への耕土(赤土等)の流出を防止するため発生源対策・流出防止対策を行います。対策として、農地の勾配抑制、グリーンベルト等の設置、沈砂地の整備等を行っています。

- 水質保全対策事業(耕土流出防止型)

農地及びその周辺の土地の土壌流出を防止するため、勾配抑制等様々な整備を行います。



勾配抑制  
(ほ場の勾配を緩やかにし  
耕土の流出を抑制)



グリーン・ベルト しがら工  
(排水路への耕土の流出を抑制)



沈砂池  
(排水の流速を抑えて  
赤土を沈殿させる施設)

## ③地域が有する多面的機能の維持・発揮

農山漁村の豊かな自然環境の保全や景観の形成、伝統文化の継承等の多面的機能を生かし、都市住民にも開かれた快適で活力ある村づくりを推進する。農山漁村の地域社会の維持・向上やグリーン・ツーリズム等の推進を図っています。

農業・農村のもつ多面的機能の発揮を促進するため、地域共同活動による農地・農業用水等の保管理や質的向上、中山間地域等における集落や担い手の農業生産活動の維持等を支援しています。

### ○多面的機能支払交付金事業

地域共同で行う農道や水路等の維持管理や長寿命化の活動を支援し、地域資源の保全やその質の向上を図っています。



施設の維持管理



景観作物の植栽



パイプライン補修

### ○ふるさと農村活性化基金事業

地域住民活動の活性化を図るため、活動を推進する人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備活動の促進に対して支援しています。



植付体験



植栽活動



地域美化活動

## 1 おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化

### ④林産物の生産振興

本島北部地域は木材の生産の中心地であり、またその一部が世界自然遺産に登録されたことから、自然環境に配慮した森林施業が求められるとともに、持続的な木材供給に取り組んでいます。また特用林産物のうち、特にきのこ類について、生産基盤の整備・強化、生産性の向上を図り、きのこの消費拡大の推進に努めています。

#### ・県産木材の安定供給に向けた普及指導の強化



地域材利用促進のための森林調査



地域材利用促進のための製材研修



環境調査勉強会

#### ・地域特性を生かしたブランド化・高付加価値化に向けた品質の向上



徳之島三町林業振興会への現地案内



木育(今帰仁小学校)



木育(辺土名小学校)

#### ・県産きのこ類の生産性及び品質の向上と消費拡大



菌床しいたけ



えのきたけ生産工場



きのこ生産資材高騰支援ヒアリング

## 6 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備

### ②自然環境に配慮した森林・林業の基盤整備

水源涵養、災害の防止等、森林の持つ多面的機能を高度に発揮させるため、森林を保安林に指定するとともに、山地等に起因する災害から地域住民の生命・財産を守るための整備を行っています。



法枠工、筋工、山腹緑化工等(国頭村伊地)



フィット筋工 (大宜味村津波)

森林の持つ多面的機能を高度に発揮するためには、森林を適切に管理することが重要であります。このため、造林事業においては、人工造林、保育、除伐などの森林施業を行っています。



現地適応化試験地(県営林)



ニッケイ造林地(国頭村)

本県は温暖な気候条件から多様な昆虫等が生息し、年間を通して森林病害虫が発生しやすい環境下であり、病害虫対策は重要であります。松くい虫をはじめとする森林病害虫等による被害を防止し、森林の保全を図るため、森林病害虫等の防除対策に努めています。



松くい虫被害対策(薬剤散布)



松くい虫被害対策(伐倒木の焼却処分)